

表紙

(まとめ方の見本)

作品のタイトル

学校名

学年

名前

## もくじ

はじめに	1 ページ
よそう	2 ページ
調べ方	2 ページ
分かったこと①	3 ページ
分かったこと②	4 ページ
感想・おわりに	5 ページ

## 参考文献リスト

## はじめに

わたしの家の前に黄色い花がたくさんさいています。小さくてかわいい花です。おうちの人に聞いてみると家族がうえたわけではないけれど春になると毎年花をさかせるそうです。

どんな名前の花なのか、どんな種類の花なのか、気になったのでくわしく調べてみることにしました。

## よそう

小さいころ、この黄色い花ににているものでよく遊んでいたのもので〇〇だと思う。

小さくて黄色い花の名前は、〇〇のほかによく知らない。

## 調べ方

- ・ としょかんの本で調べる
- ・ △△新聞に〇〇の記事がないか調べる
- ・ 博物館で〇〇について聞いてみる
- ・ □□□のホームページを見る

## 調べて分かったこと①



場所：自宅

さつえい者：自分

さつえい日：令和〇年〇月〇日

### ・花の名前について

〇〇〇科

△△△属□□□

「書名△△△」 P.10 より

### ・名前のゆらい

19〇〇年に外国から持ち出され、〇〇語から名づけられたのがゆらい

「書名□□□」 P.20 より

### ・花の名所

〇〇県〇〇市の

〇〇公園

5月下旬に花の見ごろをむかえ、この時期に多くの観光客がおとずれる

令和〇年〇月〇日付

「□□新聞」 P.10 より

## 調べて分かったこと②

博物館の人に聞いてみると、日本全国に〇〇があることということがわかりました。

また〇〇は□□□のホームページで調べると日本の北側、〇〇は日本の南側にあるということもわかりました。

※たとえば、日本地図などを書いてみてもよい

図「□□□のホームページ」より

訪問インタビュー

△△博物館 □□さん

(令和〇年〇月〇日訪問)

## 感想・おわりに

今回、調べ学習をやってみて、はじめは〇〇だと思っていたことが自分の予想とちがって、●●だということがわかりました。自分の友だちや家族、近所の人に、〇〇についてアンケートをとったらほとんどの人がまちがっておぼえていました。みんな知っているようでじっさいは、かんちがいしている人が多いと思いました。

また、□□□についても知りたいので、次の調べ学習でくわしく調べてみたいと思います。

調べ学習に協力してくれた皆さんありがとうございました。

〈アンケート調査〉

いつ：令和4年〇月〇日（日）

だれに：家族（祖母・父・母・姉）、近所の〇〇さん、学校の友だち（4人）計10人

どのように：〇〇の写真を見てもらい口頭で質問

質問①この写真の花の名前を知っていますか？

知っている 7人

よくわからない 3人

質問②この花の名前を教えてください（知っている方のみ回答）

〇〇 7人

質問③なぜ〇〇だと思いましたか？

見た目でそう思った 5人

黄色い花は〇〇しか知らない 1人

本で見たことがあるから 1人



## 解決マニュアル

### 1 テーマが決まらない

⇒自分に（子どもに）ぴったりのテーマを選びましょう

- 好きなことは？好きなものは？
- 不思議だなあと思っていることは？
- 気になっていることは？→授業で学んだことをもっと知りたいなど
- 嫌いなものは？
- 困っていることは？

ポイント：誰かにすすめられたテーマ（自主的でない）では飽きてしまう。自主的に決めた形にする。

（具体的な方法）

- ドーナツチャート（別紙）で具体化してもよい。
- インタビューゲーム

→インタビューによって調べたいことがよりはっきりする。聞かれることに答えることではっきりしてくる。友だちや親などが、好きなこと（1の例）などを聞き、その何が好きなのかなどと細かく質問すると、具体化してくる。

例) 動物が好き→好きな動物は？→「ねこ」→どうして好き？→「ねこを飼っているから」→気になっていることは？困っていることは？→「匂い」⇒ねこの匂いを仮テーマにするなど

### 2 情報があつめられない

⇒一つだけでなく、いろいろな種類の情報に目を向けましょう

- 本で調べる（図書館）
- 本以外の資料（新聞、雑誌、パンフレットなど）で調べる
- インターネットで調べる
- インタビューする
- アンケートをとる
- その場所にしてみる

ポイント：必要なことを記録すること

例) 本⇒書名、著者名、出版社（奥付けを写真で撮るなど）

Web⇒アドレスと日付（情報が更新されるため）

インタビューや写真などの資料を掲載する場合は、関係者に必ず許可を取ること

3 まとめ方がわからない ⇒「本」や「入賞作品」を見本にして、まとめましょう。

⇒ポイント：楽しみながら書く。読んで面白い作品は、書き手も楽しんでいる。

① きっかけと予想を書く。

なぜそのテーマを選んだのか、きっかけを書く。また調べる前に答えがどうなるか考えたこと（予想）も書いてみましょう。

② 調べたこと、わかったこと、考えたことを記録しておく

- ・カードや付箋など。A4のルーズリーフだとまとめやすい。
- ・本のタイトル、著者名、出版社、掲載ページ、所蔵図書館名なども記録する
- ・伝える相手をイメージしながらまとめる。友だちに分かるような文章で書く  
⇒例) お母さんに、友だちに伝えるようなイメージ

③ まとめ・感想

- ・まとめでは自分の予想と比べてどうだったかなど自分の知りたかったことの答えを書こう。
- ・感想では調べてみて自分が考えたこと、思ったことを書きましょう。大変だったことやうれしかったことなどでもよい。

④ 必要なページは忘れずにつくりましょう（もくじ、参考文献）

#### ■調べたことを整理する方法（情報カードの活用）

1. 情報カード（調べたことを1つ書く）→5cm四方のメモ（ふせん）に書くイメージ
2. カードの内容ごとにグループでまとめてみる
3. グールピングにより、グループがわかると
4. 順番化しやすく、足りない情報も見える化できる。

4 良い作品かわからない ⇒読んだとき、面白くもっと読みたいと感じる作品を作りましょう

- テーマに対しての思いが伝わってくる「はじめに」にする
- 自分が感じた気持ちを表現する（楽しい・悲しい・感動した・ドキドキした）⇒論文と違う

#### ■調べ学習の過去作品を例に

- 困っていることをテーマにした作品⇒自営のお菓子屋さんの看板メニューに
- 身近なものから問題意識をもった作品へ
- 一つのテーマを追いつけている作品⇒毎年進化、例) 桃太郎をテーマに鬼や宝など

#### ■調べ学習を楽しむ

- 一緒に調べて楽しさを共有しましょう。家族で楽しむ。
- 家族でテーマを話題（テーマに関連した場所に行ってみるのも面白い）
- 子どもの小さな疑問を大切にする  
→大人にとってつまらない疑問でも調べたことを大切にあげてあげる。
- 調べたいことを一緒に面白がる

■その他 親子の部⇒分担をはっきりしていること。親が登場する所もつくる。

提出前に確認しましょう

### ■提出する前の基本チェック項目

- もくじ、参考文献、ページ振り（表紙、もくじ、参考文献にはページ数を書かない）
- 写真の出典（撮影日、撮影場所、撮影者を記載。自分の家族でも記載する）
- 引用 引用した部分は「 」とつけ、出典を記入する
- 自分の過去の作品を引用する場合は、それも参考文献とみなす
- はじめに 調べるきっかけ、理由・動機などが書かれているか（予想も書くとよい）
- おわりに 感想やお世話になった方への感謝が書かれているか（予想結果も書くとよい）
- 親子の部 分担をはっきりしていること。親が登場する所もあるか

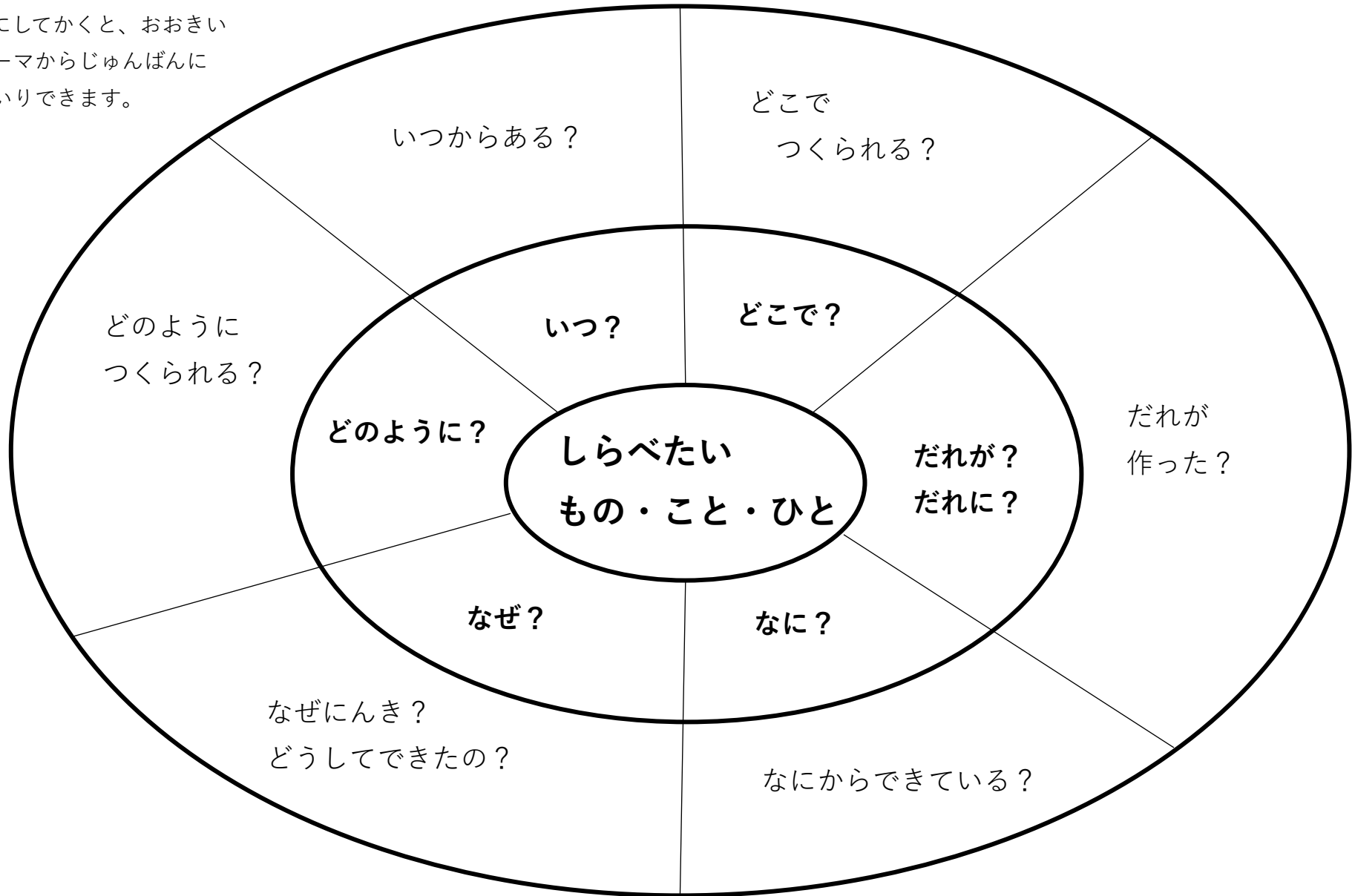
ポイント：「はじめに」と「おわりに」が続けて読めているのが理想。

### ■さらによいものにしたいひとに

- なるべく複数の文献を利用しているか
- 情報の取捨選択 ⇒ 面白くてもテーマに関係ないものは入れない
- 各所に考え、意見、伝えたいことが書かれているか
- タイトルが魅力的で引きつけられるもの
- いくつか資料や情報を比べていますか
- 自分が変わったこと、影響を受けたことを、調べる前と後での自分の変化を伝えている

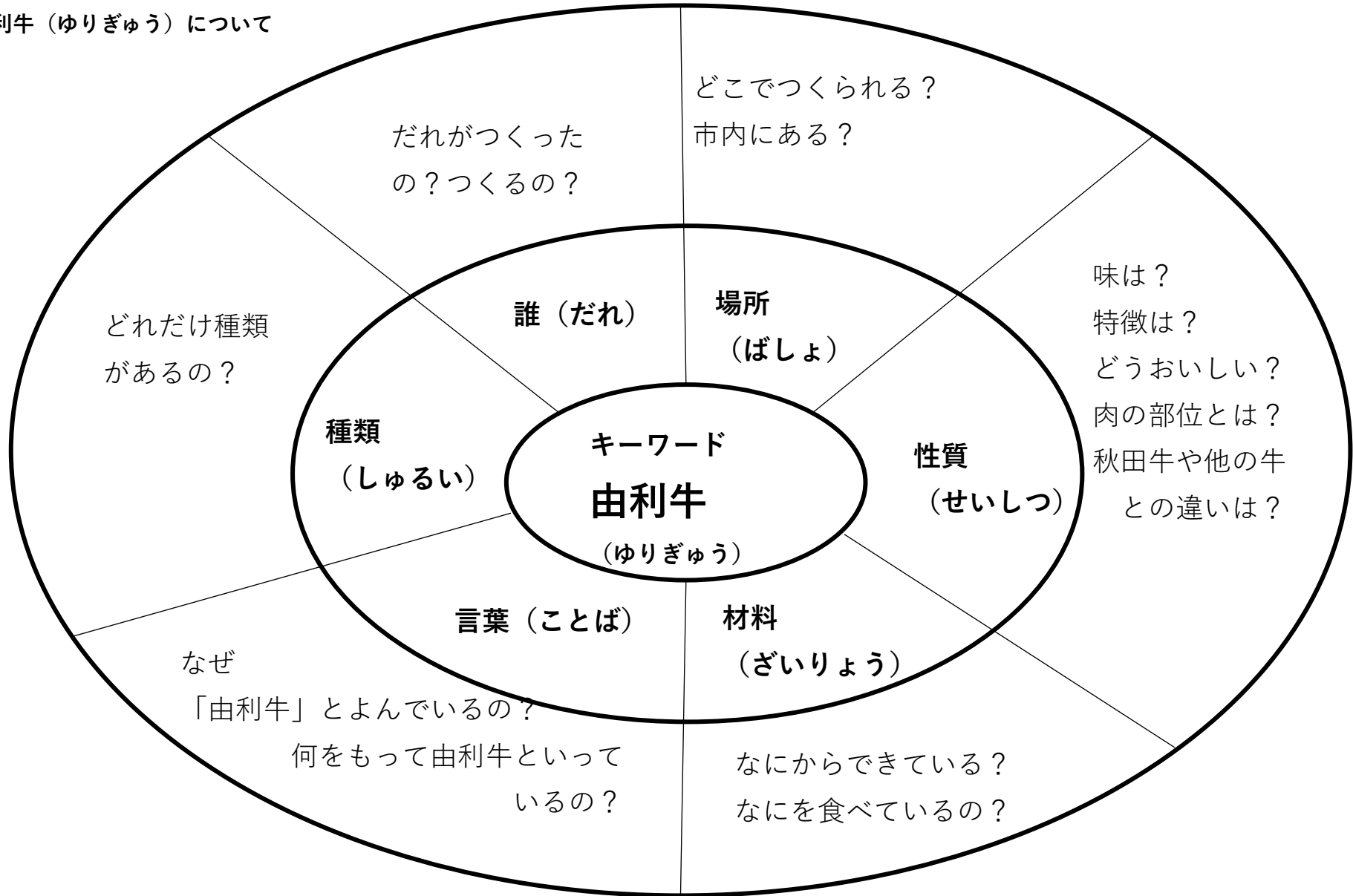
# ドーナツチャート

ずにしてかくと、おおきい  
テーマからじゅんばんに  
せいりできます。



例

由利牛（ゆりぎゅう）について



ドーナツチャート用紙

